

平成29年度安城市行政評価報告書に対する取組状況(概要)
～令和元年度取組結果～

事業名	令和元年度の主な取組結果
市民盆踊りの集い開催事業	市民盆踊りに代わる新たな青年の支援・交流の場を創出するため、青年企画委員会メンバーを募集し、彼らの企画・運営によるイベントを前年度に引き続き実施しました。 令和元年度を以って、行政評価報告書に対する平成29～令和元年度に計画された取組は終了しました。
秋葉いこいの広場施設管理運営事業	平成30年度を以って、行政評価報告書に対する取組は終了したため、令和元年度の取組事項はありません。
学校図書館教育推進事業	図書館教育アドバイザーとともに年5回の研修を行い、授業に参加する中で、どのように子どもと関わっていくのかを具体的に学び合い、学校司書としての資質向上を図りました。 令和元年度を以って、行政評価報告書に対する平成29～令和元年度に計画された取組は終了しました。

平成29年度安城市行政評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事務事業名	市民盆踊りの集い開催事業	担当課	生涯学習課
事業内容	盆踊りを通して、市内外の青少年団体のみならず、各種団体との交流を深めるとともに、安城市青年団協議会の活動のアピールの場として開催している。		
公開行政レビューでの論点	社会情勢の変化による青年団活動の衰退に伴い、青年団が市民盆踊りの集いを開催し続けることが困難となっていることから、新たな青年の交流・支援の場を設けていくこととし、市民盆踊りの集いを廃止したいが、どうか。		

【取組方針】

評価結果	廃止
行政評価報告書からの提言	市民盆踊りに代わる青年の交流、支援となる事業展開を検討していただきたい。また、市民盆踊りについては他部署とともに市としての位置づけについて検討していただきたい。
上記提言を踏まえた取組方針	今年度をもって市民盆踊りの集いを廃止するにあたり、関係団体への周知を行うとともに、市民盆踊りに代わる新たな青年の交流・支援の場を設けます。合わせて市民盆踊りのあり方について検討します。

【取組内容(見直しに向けた計画)等】

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度
項目	取組	関係団体への周知のうえ、廃止		
	実績	青年団協議会・佐野豊麗氏に趣旨を説明して理解してもらい、廃止することとなった。		
市民盆踊りに代わる新たな青年の支援・交流の場の創出	取組	新たな青年の交流・支援となる事業の検討	新たな青年の交流・支援の場の創出	新たな青年の交流・支援の場の継続
	実績	事業の企画実施を担う団体メンバーを公募するための計画案を作成した。	青年企画委員会メンバーを募集し、彼らの企画・運営によるイベントを実施した。	青年企画委員会による企画、イベントを実施した。
市民盆踊りのあり方の検討	取組	市民盆踊りのあり方を検討し、方針決定		
	実績	庁内の関係課(市民協働課・文化振興課・生涯学習課)と協議したが、盆踊りを継続する必要がないと判断したため、廃止することとした。		

平成29年度安城市行政評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事務事業名	学校図書館教育推進事業	担当課	学校教育課
事業内容	学校司書を配置し、学校図書館の環境整備や利用促進を図るため、書籍管理の徹底や本の貸し出し、児童生徒への読み聞かせ、調べ学習等の授業補助などを行っている。また、アンフォーレや地域ボランティアと連携し、学校図書館環境の活性化を図っている。		
公開行政レビューでの論点	全校に学校司書を常時1人配置とし、さらに子どもたちが読書に親しめるようにするために、学校図書館の環境づくりや図書情報館との連携、教育活動の推進を図っていききたいが、どうか。		

【取組方針】

評価結果	拡充
行政評価報告書からの提言	学校司書の配置の拡充に向けて推進していただきたいが、学校司書の資質の向上を図っていただきたい。また、効果的な学校司書の配置のあり方についても検討していただきたい。
上記提言を踏まえた取組方針	学校司書の資質の向上に取り組むとともに、効果的な学校司書の配置のあり方について検討します。

【取組内容（見直しに向けた計画）等】

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度
項目				
学校司書の資質向上	取組	学校司書の資質向上に向けた研修等の検討	研修の実施	継続実施
	実績	平成29年度から図書館教育アドバイザーを配置し、学校司書の現状を分析するとともに、「学校司書に期待されること」「子どもたちの学習内容」等について、理解を深めるための研修計画を立案した。	図書館教育アドバイザーとともに年6回の研修を行った。研修では、学校司書が教師とともに授業に入り、資料本の活用や読書啓発をする場面を参観し、その後協議会を開き、子どもを育てる学校司書としての資質向上を図った。	図書館教育アドバイザーとともに年5回の研修を行った。授業に参加する中で、どのように子どもと関わっていくのかを具体的に学び合い、学校司書としての資質向上を図った。
学校司書の効果的な配置のあり方について検討	取組	学校司書の効果的な配置のあり方について検討	方針決定	
	実績	学校司書がどのような仕事にどれくらいの時間取り組んでいるのかを把握できるように、勤務実績書を作成した。平成30年度に現状を分析し、方針を決定する。	学校司書が、学校図書館の環境整備に限らず、授業に入ったり、休憩時間の子どもの関わっていたりすることを推進する方針とした。勤務実績の割合からも分析をする。	